

平成28年度国家公務員災害補償統計の概要

1 災害の認定状況

平成28年度に公務災害又は通勤災害と認定(上認定)された件数は2,087件で、前年度(1,934件)と比べ7.9%増加した。

(1) 公務災害の認定状況

平成28年度に公務災害と認定された件数は1,468件で、前年度(1,431件)と比べ2.6%増加した。

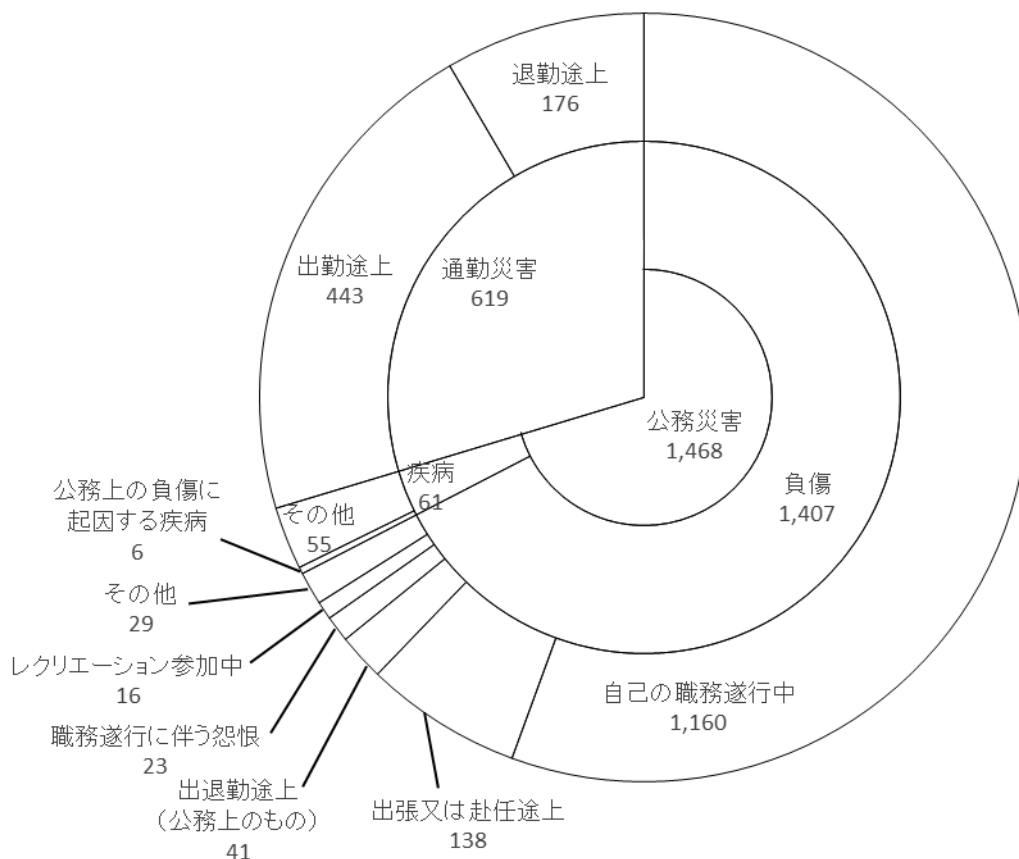
これを事由別に見ると、負傷が1,407件(対前年度51件増)で、公務災害の95.8%を占める。負傷のうち、82.4%が自己の職務遂行中に発生している。また、疾病は61件(同14件減)となっている。

(2) 通勤災害の認定状況

平成28年度に通勤災害と認定された件数は619件で、前年度(503件)と比べ23.1%増加している。このうち、71.6%が出勤途上で起こっている。

公務災害及び通勤災害の認定状況

(単位：件)



2 補償及び福祉事業の実施状況

平成28年度における補償及び福祉事業の実施件数は9,236件、実施金額は73億292万円で、前年度（8,707件、72億2,868万円）に比べ、件数では6.1%増加、金額では1.0%増加している。

(1) 補償の実施状況

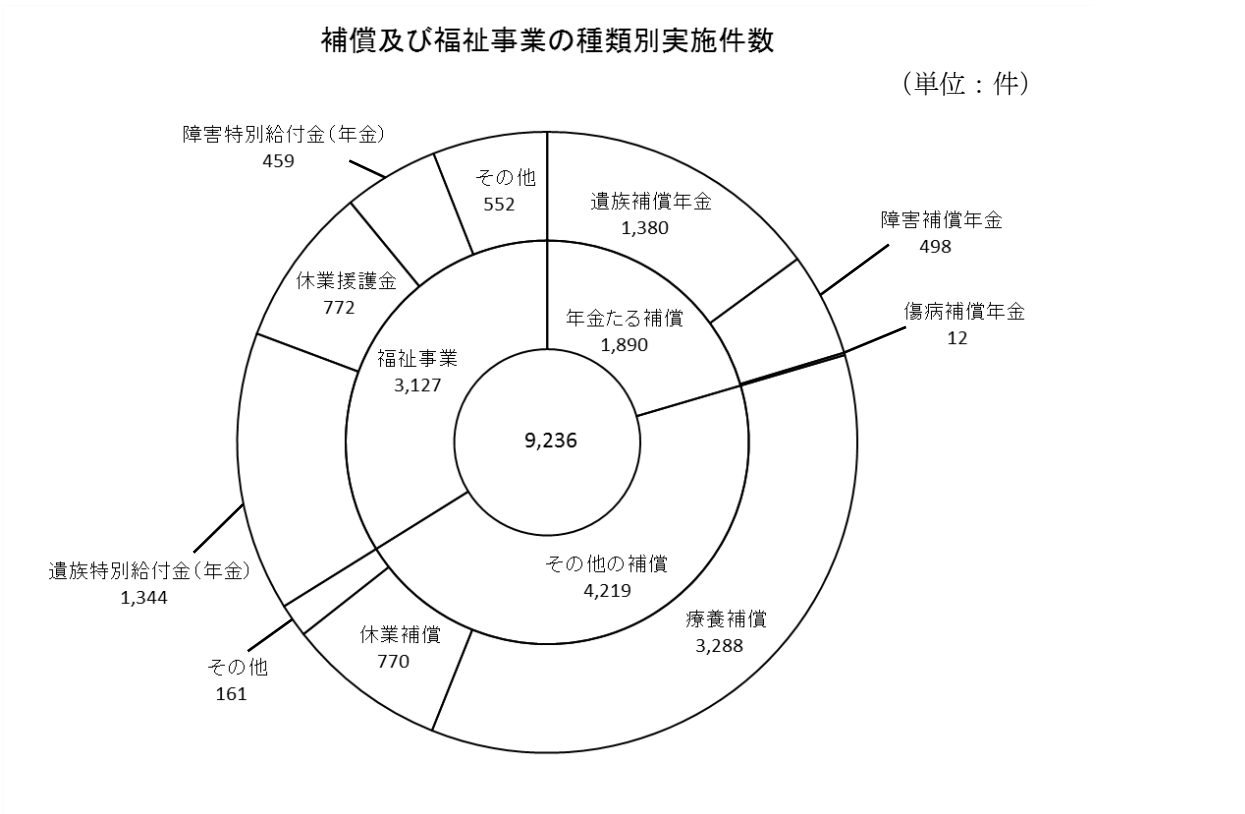
補償全体の実施件数は6,109件（対前年度比11.2%増）、実施金額は60億1,523万円（同2.1%増）となっている。

補償全体に占める件数の割合については療養補償（53.8%）、遺族補償年金（22.6%）、休業補償（12.6%）の順に高く、金額では遺族補償年金（50.8%）、療養補償（19.8%）、障害補償年金（18.4%）の順に高くなっている。

(2) 福祉事業の実施状況

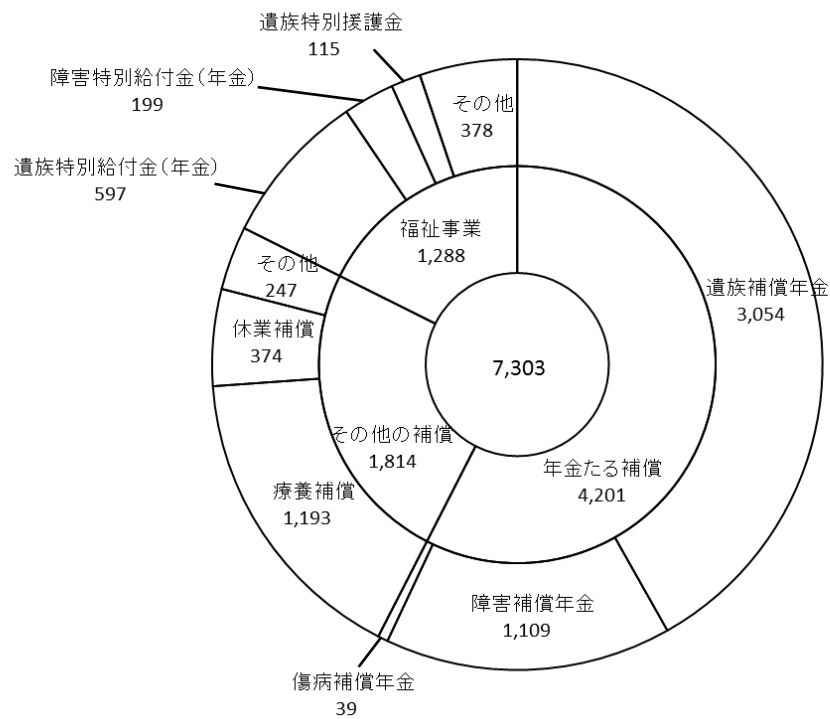
福祉事業全体の実施件数は3,127件（対前年度比2.7%減）、実施金額は12億8,770万円（同3.7%減）となっている。

福祉事業全体に占める件数の割合については遺族特別給付金の年金（43.0%）、休業援護金（24.7%）の順に高く、金額では遺族特別給付金の年金（46.3%）、障害特別給付金の年金（15.4%）の順に高くなっている。



補償及び福祉事業の種類別実施金額

(単位:百万円)



グラフ中の各項目の金額で万円単位又は千円単位としているものは、端数を四捨五入しているため、それぞれの合計又は小計の欄の数字と合わないことがある。